

A

敬学会賞第十九回入選作品

貝採集

四年四組

佐藤

宏

目次

五頁

○ 採集の期日

○ 採集の場所

○ なせ採集したか

六頁

○ 貝のあったところ

七頁

○ ひろった貝

○ 巻貝

△ ナガニシ

八頁

△ カズラ貝

士頁

△カモメ貝

△サクラ貝

△チリボタン

△ナミガシワ

△ハマグリ

△アミガサ

○しおだまりの絵

士頁

○反せい

九頁

△ツメタ貝

△イボニシ

△レイシ

△イシダタミ

○ニ枚貝

△ムラサキ貝

△イ貝

十頁

△ベニ貝

△キクザル

△サルボウ

貝採集

一、月日 八月一日より

八月三日まで

二、場所 山形県つる岡市湯の浜海岸

三、なぜ採集したか

ぼくは、海水浴をするために、砂浜に行
って遊んでいたらみんなが、ハマグリやアサ
リ、をとっているのがわかりました。

大人もぼくぐらいの人も多くの人が見を、ひ
ろっているのでもひろってみたいと思っ

ました。

四、貝のあったところ

波うちぎわのところ

かいは多くありました

かわいた

砂浜

砂浜

水にぬれた

海

波

ちりよつた砂

屋は多くさんの人が砂浜で遊んでいるので波うちぎわのところがあまりはつきりわかりませんでした。

朝早く海岸にでたら絵のように、波うちぎわにぬれた砂がもりあがっていました。そのも

り上がった砂のところで目をひろいました。

五ひろった貝

ナガニシ（イトマギボラ科）

長さ十四センチ 日本各地

この貝は死んで少しこあれていました。
カズラガイ（トワカムリ科）

長さ八センチ 本州以南

ぼくは日本海の北の方のでひろったので
すこし変だと思いましたが泳いでいると
き波にのって流されている貝をひろつ
たのです。この貝は生きてたので海水に入
れて来たのですが家に帰ったら死んでし
まいました。

ツツタ貝（タマガイ科）

長さ七センチ 日本かく地

○ニ枚貝

ムラサキガイ（イガイ科）

長さ四センチ 日本各地

イガイ（イガイ科）

イボニシ（アケギガイ科）

長さ四センチ 日本かく地

レイシ（アケギガイ科）

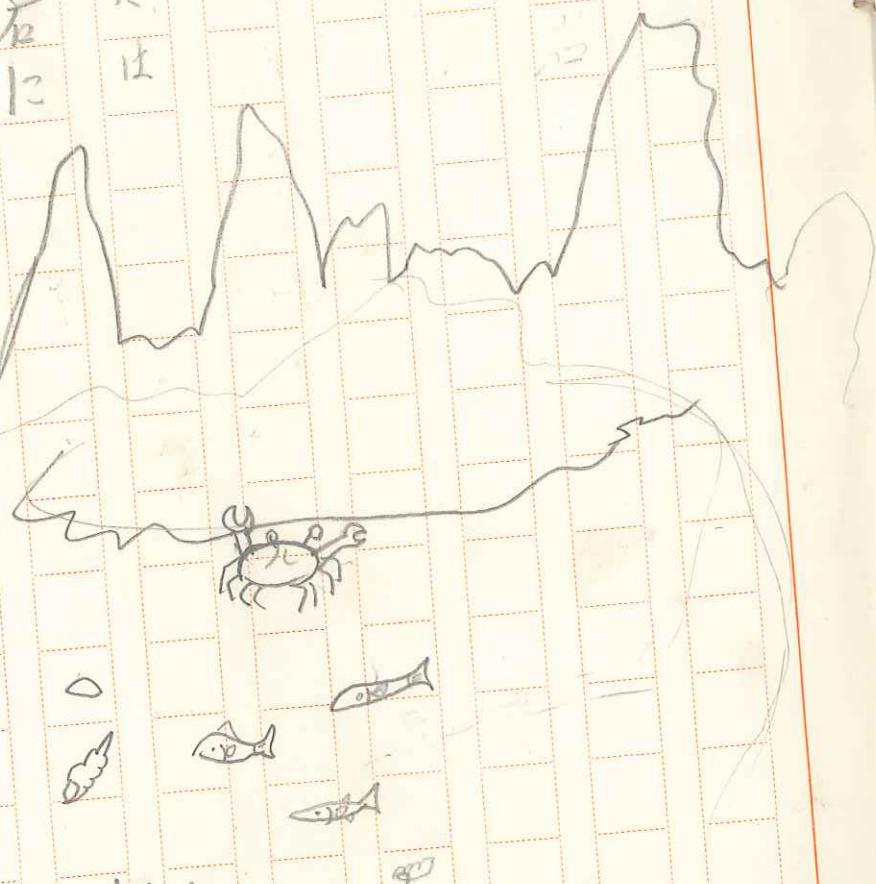
長さ五センチ 本州以南

イシダタミ（エシキウズ科）

長さ一八センチ 日本各地

長さ十三センチ 日本各地
 ベトガイ（ニッポウガイ科）
 長さ五、五センチ 本州以南
 キクザル（キクザルガイ科）
 長さ四センチ 本州以南
 サルボウ（フネガイ科）
 長さ八センチ 日本各地
 カモメガイ（ニオガイ科）
 長さ四、五センチ 本州以南
 岩にあねをぼっています。

サクラガイ。
 ちりばたん。
 なみがしわ
 はまぐり
 しおだまり
 しおだまりには
 あみがさが岩に
 くっついていました。
 やどかりの子ども
 かたくさんいました。



しおだまり

六 反せい

貝をひろめてるときは、おもしろいので、
 名前のおからないのも、おもしろいので、
 ましたが、おあとして、はこにならべる時に
 貝の図かん、科学の本、家にある貝のひ
 よう本などをみて調べました。
 貝の名前やすんでる所も、あかり勉強にな
 りました。

ひよう本の貝には、名前があるだけだ
 ど、ここで採集されたのか、場所も書いてあり

ません。母が紀州の白浜からの買って来
 てくれたのと、父が伊豆半島に行った時に
 買って来てくれたのですが、ひよう本に
 も図かんにあるように書いてあるといい
 なと思います。
 ちりぼたん、なみがしわ、などはきれい
 な貝ですが、名前きりわからなかつたのが
 ざんねんでした。これからも図かんを見
 て調べていきたいと思ひます。